

滋賀県に日本初の薬用ニンジン研究所

大木ヘルスケアホールディングス（HD）（東京・文京）は、日本初となる薬用ニンジンの専門研究所「日本薬用人参研究所」（滋賀県日野町）の開所式を開いた。同社は以前から薬用ニンジン的一种「紅参」の持つ薬効に注目し、多くの大学や医療機関と共同研究を重ねてきた。今回設立した日本薬用人参研究所を、研究開発の新たな拠点と位置づけ、薬用ニンジンのさらなる活用の可能性を探る。

大木ヘルスケアHDの松井秀正社長は「高齢化の進む社会において、薬用ニンジンの有用性は今まで以上に重要になる」と研究の進展に期待を寄せた。